

○議長（茅沼隆文）

それでは、再開いたします。

午後 4 時 2 0 分

○議長（茅沼隆文）

9 番、井上三史議員、どうぞ。

○9 番（井上三史）

こんにちは。議員番号 9 番、井上三史です。

通告文に沿って質問いたします。町民の安全で安心して暮らせる生活を支える町の治安対策について、伺います。

開成町では、過去 3 年間に空き巣被害、痴漢被害、振り込め詐欺被害が発生しております。再発防止策としては、短期策、中・長期策として何か策を考えていたらお聞かせください。

現在、1 万 7, 0 0 0 人の人口を延沢駐在、吉田島駐在の 2 人の警察官がカバーしております。今後、開成みなみ地区に約 1, 2 0 0 人の人口増が見込まれます。2 人の警察官の負担は増すばかりです。過去、開成駅前に交番を誘致するという話がありましたが、交番誘致は、その後、どうなっているのか、経緯を含めて質問いたします。交番誘致が難しいのであれば、交番が誘致されるまでの間、別の対策を検討しているのでしょうか、お答えください。私の考えは、交番誘致の前段階として駐在を誘致したらどうか。

以上、登壇での質問といたします。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

井上議員のご質問にお答えします。

開成町における刑法犯発生件数は、平成 1 4 年のピークには 2 9 2 件、平成 2 6 年度では 1 3 2 件、傾向としては、ここ 1 0 年では減少傾向にあります。平成 2 6 年の犯罪の主なものとしては、空き巣被害が 7 件、痴漢被害が 4 件、振り込め詐欺被害が 4 件、特に振り込め詐欺の被害額は 1, 0 4 9 万 9, 9 2 5 円となっております。

犯罪の防止策としては、防犯キャンペーンやボランティアによる防犯パトロールのほか、警察へのパトカーの巡回強化の依頼、犯罪防止看板の設置などを行っております。また、防犯対策としては、防犯・防災メールの情報提供や計画的な防犯灯の整備及び防犯カメラの整備を推進しております。

次に、駅前交番誘致の取り組みの経緯について説明をいたします。

小田急開成駅は昭和 6 0 年 3 月に開業し、これに伴い平成 8 年に神奈川県警察松田警察署開成駅前連絡所が設置されました。平成 1 0 年 1 1 月には自治会長連絡協議会が中心となり交番設置の署名運動が実施され、8, 2 3 7 名の署名が集まりました。これを添えて、町は同年 1 2 月に神奈川県知事、警察に交番設置要望書を初めて提出いたしました。これを契機に現在もこの要望を続けておりますが、特に平成 2 2 年の

要望時での神奈川県警察本部地域部長からの回答は、一つ、現在の2駐在所体制に加え新たに交番を設置する状況にはない、2、松田警察署では駅前連絡所へパトカー勤務員、駐在所勤務員の立ち入りを強化している、3、交番相談員の来春設置について努力をするというものでありました。

町は、この回答を受けて平成22年度に、あくまでも2駐在所を残し新たに駅前交番を要望する、2駐在所は残し駅前連絡所の強化を要望する、2駐在所を廃止して駅前に交番設置を要望するという三つの選択肢の中から、議会、自治会長会議、駅前連絡所安全サポーター及び開成防犯まちづくり推進協議会において、方針決定に向けて意見聴取を行いました。その結果、地域に根差した活動を展開している2駐在所を存続させ交番の設置を要望していくという意見が最も多い結果となり、これを町の方針といたしました。現在、まだ交番は設置されておりませんが、これまでの間、交番相談員の勤務と開成駅前連絡所ボランティア安全サポーターのご協力を仰ぐことで対応を今はしております。

次に、議員の提案にお答えします。議員提案は、駅前に交番が設置されるまでの間、駐在所の誘致をとのことですが、まず交番と駐在所の違いについてお話をしたいと思います。

交番とは、主に都市部で複数の警察官が勤務し、24時間体制で犯罪などへの対処をするものであります。これに対して駐在所とは、家族とともに居住し勤務する体制で、地域と密着し地域全体の犯罪防止や防犯を推進するなどの違いがあります。したがって、駅への駐在所の設置は本来の目的にそぐわないと言えらると思います。仮に駅への駐在所が設置された場合、これまでの経緯から吉田島駐在所の廃止も予想されます。町としては、現在の2駐在所体制を堅持しつつ新たに開成駅前に交番を設置することとした平成22年の方針に基づき、引き続き粘り強く神奈川県警察に対し要望をこれからもしていくつもりであります。

以上であります。

○議長（茅沼隆文）

井上議員。

○9番（井上三史）

開成町の統計データ、人口推移を見ると、平成12年10月1日の人口は1万3,396人、平成22年10月1日の人口は1万6,369人、平成27年6月現在の人口は1万7,000人に達しました。

さて、全ての開成町民の安全で安心して暮らせる生活は確保されているのでしょうか。特に、最近になって4月5日に延沢で空き巣発生、4月7日に宮ノ台で事務所荒らし発生、4月15日、吉田島で女子小学生に対する声かけ事案発生、5月17日に吉田島で公然わいせつ発生、5月25日、吉田島で事務所荒らし発生、6月1日、延沢で女子大学生への不審行動、ストーカー行為が発生しております。町民の安全で安心して暮らせる生活を支えるための犯罪再発防止策及び防犯対策について答弁がありました。その中で、防犯・防災メールの情報提供の実際はどう利用されているの

でしょうか、お伺いたします。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

では、井上議員の質問にお答えさせていただきます。

実際、今、細かく日を追って空き巣あるいは事務所荒らしがあったというようなお調べをされたということですが、現状、犯罪の発生状況としては、やはり開成町においては空き巣、一番多いのは自転車盗、次に万引き、空き巣というようなことですが、町長答弁にありましたとおり、振り込め詐欺というようなことも被害に遭われているというようなことを把握しております。

今、ご指摘のありました防災安全メール、これは、実際、町からの情報あるいは警察からの情報、あるいは教育事務所等から発生した犯罪被害、あるいは痴漢等があったと不審者メール等を流している状況ですけれども、まだまだ浸透がされていないところもありますので、この辺はPRをしていきたいと考えてございます。

○議長（茅沼隆文）

井上議員。

○9番（井上三史）

今、課長の言われたとおり、防犯・防災メールというのが、開成町で、あるいは松田警察署等から、さまざまなところから情報提供はあるのですけれども、防犯・防災メールの受信について、現在、開成町では、どのくらいの方がこれを利用されているのでしょうか。わかる範囲の中で結構ですので、よろしくお伺いたします。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

具体的に広報すると登録者数は増えていくという状況がありますけれども、現在は100人程度しか登録していないという状況でございます。

○議長（茅沼隆文）

井上議員。

○9番（井上三史）

それでも100人利用しているという数字がわかりまして、ありがとうございます。ぜひ、情報あつての対策も町民は考えることができる、ましてボランティアの団体というのがたくさんありますので、そういう方々にもメールの受信の仕組みについて、ぜひ、これからもPRのほうをよろしくお伺いたします。

次に、防犯カメラは、先ほどお話がありましたけれども、現在、どこに設置されているのでしょうか。支障がなければ教えていただきたいと思っております。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

では、防犯カメラについてご説明させていただきます。防犯カメラについては、先行して、まず南小が開設のときに南小にはついて、その後、幼・小・中に設置をしているという状況です。具体的には、町内では駅前、開成町の西口ロータリーのほうに2カ所設置をさせていただいております。今後、南地区区画整理地内で組合のご協力のもと、7基が各公園等に設置される予定でございます。その後、開成町に維持管理を任せられるということになりますので、約10基が防犯カメラとして作動している、あとは学校に全てあるという状況でございます。

○議長（茅沼隆文）

井上議員。

○9番（井上三史）

ありがとうございます。防犯カメラは事件解決の手がかりになるとともに犯罪防止力に効果がありますので、今後も整備の推進をお願いしたいところです。

さて、現在、1万7,000人の人口を延沢駐在、吉田島駐在の2人の地域密着型警察官がカバーしております。今後、開成みなみ地区に1,200人の人口増が見込まれます。2人の警察官の負担は増すばかりです。

過去、開成駅前に交番を誘致するとの経緯の答弁がありました。平成10年から16年間の町及び町民の努力に敬意をあらわすとともに、さて、交番を誘致するとなると警察官は6人体制となるのが一般的です。3交代制で、バックアップ要員をとるからだそうです。試算してみますと、少し古いデータですが、平成19年度の警察官の平均年収は813万5,000円で、6人で4,881万円になります。駅前連絡所は仮眠室がありませんので、建てかえが必要になります。建てかえ費を2,000万円とすると、合わせて6,881万円必要となります。また、神奈川県警察本部は、現在、松田警察署の建てかえをしている、これらのことが交番誘致を難しくしている背景と考えられます。交番誘致が難しいのはなぜか、どう分析を町のほうではしておられるのか、その見解を伺いたいと思います。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

では、お答えさせていただきます。

今の井上議員のお話ですと、警察官の人件費が問題であろうというようなことであろうかと思えます。一般的に、交番には24時間体制で詰めているので、最低6名の警察官が必要であろうというところで説明があったところですが、実際問題、警察に我々、県要望として駅前に交番をつくってくださいということで毎年要望はしています。

そんな中で回答が来るのが、スクラップ・アンド・ビルドで考えていくので、例えば一つを削って検討することはあり得るよというようなこと、あるいは近隣に新松田の交番がある、あるいは隣に栢山の交番がある、夜間はそちらでカバーし日中は交番相談員をつけているよというようなことで、それにプラス、パトカーを巡回させ立ち

寄り回数を増やすというようなことでやっているのです、今のところ設置ができないというような回答が毎回来ます。

しかしながら、私どもとしては、やはり人口も増えていて、今、井上議員おっしゃるとおり、痴漢やら事務所荒らしやら、そういうことが起こっているわけで、町としては本当に駅前に交番をつくりたいというようなことで要望しているところですが、なかなかかなわない。警察が新しい建物を建てているというようなこともありますけれども、予算云々もありますが、町としては今後も強く交番の設置は要望していきたいと考えています。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

井上議員。

○9番（井上三史）

交番誘致が難しいのであれば、やはり交番誘致されるまでの間、何も手をこまねいて待っているだけではないかと思ひ、別の対策を検討する必要があるのではないかなど私は考えております。パレットガーデンを含め、開成駅から開成みなみ地区、及び南足柄市の和田河原駅までをカバーする地域密着型の警察官1名を増員し、駐在を誘致するという事は、難しい提案ではないと私は考えておりました。

先ほどの答弁を考えると、16年かけてきても実現しない、やはり、これ現実なのですけれども、交番誘致は難しいということが私も今の答弁で理解はできたつもりです。しかしながら、駅前連絡所の民間活力に加え制服を着た警察官が配属されることは、住民の長年の切なる要望です。平成10年の話が出まして、その当時でさえ8,237人の署名が集まっているということです。当時の20歳以上の人口を見ますと、ほぼ90%を超える人が署名に参加しているということになります。町民のこれほど多くの要望が、もう既に平成10年に起きているわけです。その平成10年から17年経過している、これは、やはり非常に町民としては待ち遠しい、町は何やっているのという気持ちが生まれてきても自然なのかなと思っております。

開成駅を利用する人にとっても、駅前に警察官がいれば、どんなに心強いかわかりません。これから開成町みなみ地区に移り住もうと考える人々のためにも、町は町民の安全で安心して暮らせる生活を支えていかなければなりません。新たな策は必ずあるはずですが、例えば、実際に警察官に聞いてみますと、「山北駅前にある交番よりは開成駅前にあるほうが重要度が高いよね」というようなことも実際に言っています。この辺は、やはり政治的な動き、あるいは、それに対する要望等が必要だと考えますけれども、知恵を絞って駅前に町民の安全を見守る警察官を早く誘致する策というのは、現在、先ほどの答弁の中にいろいろ、確かに、協議して、このように町としては考えているという答えはありましたけれども、でも、先ほど課長の答弁のように考えていかなければいけないというお答えはいただきました。

さて、その後の話し合いの後の経過、現在、この5年間の中で、さらに町として、こういう策でいこうかというふうなものを考えておられるのか、もし具体案があるな

らばお聞かせお願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

では、お答えさせていただきます。

今、具体的に、例えば、山北の駅前に交番があるではないかというようなお話もあったかと思えます。実際、近隣の各駅の乗降客数と比較してみますと、山北駅などは実際1日乗降客が600人ぐらいしかいない。東山北においては、それよりも多い800人前後が利用している。隣の栢山、富水、蛭田を比べてみても1万人はないと。ところが、開成町は、もう1万人を超えている乗降客数があるという実態がありますので、その辺を訴えていくというようなことです。

また、当然、南部地区のところ、冒頭、井上議員からも説明があったとおり、約1,200人の人がこれから張りつくのだというような状況もありますので、この5年間で特に何がというところは、やはり紫水大橋ができたりというような変化、交通状況の変化もありというところを訴えながら、町の方針としては2駐在と新交番を設置ということを要望していくことで方針決定させていただいておりますので、そこを強く訴えていきたいと考えております。

○議長（茅沼隆文）

井上議員。

○9番（井上三史）

開成町民は、ぜひ開成駅前に交番をとという声は本当に根強いのです。多くの方が欲しいよねというふうに言っているのも事実です。計画を立てて予算を立て、実際にやっていますと、交番が建つまでにやはり3年は必要かなと。今、ここで手を打ってこそ3年後にやっと実現するという見通しを持ちながら、町民の切なる願いは高いだけに。この5年間でも、先ほど課長が言いましたように、開成町の姿は刻々と変わっていきます。これからも変わっていくと。開成町の人口が増えている、そのためには、増えてくる人口の安全・安心は必ず町としても考えておいてほしいと。これを強く要望いたしまして、交番誘致、諦めることなく。あるいは、もし警察官を1人増やすことができるのであるならば、駐在誘致も検討の中に入れていただきまして、とにかく諦めることなく、常に常に。

改めて町民の署名を集め直してもいいのかなと思っております。そのように切にその辺を要望いたしまして、私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございます。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

まだ時間が残っていると思うので、一言。

一生懸命、井上議員もいろいろな指導で、開成町だけでなく外にもいろいろな青少

年指導という形でかかわってもらっているので、よくわかっていると思いますけれども、私ども町としては、もう諦めることなく毎回、交番の要望は必ず県に出しています。それで、なかなか難しいというのも現実的に私も理解しております。

そういった中で、一つ、交番設置が進めやすいのかなと思っているのは、急行をとめる、開成駅に。急行がとまっている駅に交番がないものはないという、松田署の中の駐在の人も警察の人も言われているのを聞いたことがあるので、できるだけ乗降客を増やして交番誘致のほうにつなげていきたいなと思っています。いろいろな手段をとにかく使いながら、諦めることなく、駐在より交番という形で開成駅前には持っていきたいなと思っていますので、その辺、また改めて井上議員にもご協力をいただいて。署名活動も、また改めて必要ならば、それを持って警察に行きたいと思いますので、今後とも、ぜひよろしくをお願いします。

○議長（茅沼隆文）

ご苦勞さまでした。井上議員、では最後にどうぞ。

○9番（井上三史）

町長の心強いお答えをいただきまして、ありがとうございます。私も、急行がとまれば交番は誘致、ほぼ可能になるかなと考えておりますけれども、急行のとまらない栢山にも交番はあるのです。だから、この辺のところも考えて、早く。今日は、開成駅に急行がとまるという質問は、また後で私はしたいなと思ってはいますけれども、やはり1日2万人の利用度があって急行はとまりますよということは、小田急のほうでもそういう回答は得ているという話は私も伺っております。今後、いろいろな手を考えながら、早く町民の切なる願いはかなえてやりたいなと思っていますので、今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございます。

○議長（茅沼隆文）

これで井上三史議員の一般質問を終了いたします。

これで、一般質問を全て終了いたしました。

これもちまして、本6月定例会議に付議された案件の審議は全て終了いたしましたので、これにて散会いたします。皆様、大変お疲れさまでした。

午後4時48分 散会